

2025 年 期 第 6 回 課題研究テーマ（東海実務補習所）

テーマ	のれんについて、従来日本基準では償却する会計処理を採用してきましたが、償却しない会計処理を採用する国際会計基準との整合性を図る観点から、のれんの償却に関する議論が高まっています。 他方、のれんの会計処理には見積りの要素が多く、金融商品や繰延税金資産等と同様に、会計上の見積りに対応した監査手続が求められます。 1. のれんの評価に関する監査手続において、監基報 540「会計上の見積りの監査」を考慮する趣旨を説明しなさい。 (1,000～1,500 字) 2. 経営者が会計上の見積りを行い、合理的な金額を算出するための一般的な留意点について述べなさい。その上で、会計上の見積りである「のれんの評価」について、のれんの評価プロセスを簡潔に記載し、その中で割引前将来キャッシュ・フローの算定における見積手法、仮定及びデータ等で留意すべき点を具体的に述べなさい。 (2,000～2,500 字) 3. 見積りの不確実性が高いと判断した会計上の見積りについて財務諸表上、注記が要求される目的、注記事項を簡潔に述べなさい。その上で、「のれんの評価」を適切に注記する場合の留意点について、あなたの考えを述べなさい。 (1,000～1,500 字) 4. 「のれんの評価」について会計上の見積り及び関連する注記事項が適用した会計基準に照らして合理的かどうか監査するため、リスク評価手続及びリスク対応手続を監基報 540 にそって具体的に述べなさい。 (2,200～2,700 字)
-----	--